

乾漆技法を用いた面制作

千葉県立松戸高等学校 田中晋太郎

この授業で付けたい力

- ・自然や生活環境と造形との調和についての理解を深め、造形の諸要素を環境の構成に総合的に生かす実践的な能力と態度を育てる。
- ・古美術研修旅行の知識をさらに深め、発想・構想力を高める。
- ・イメージを立体作品として制作する力を付ける。
- ・完成作品を鑑賞し、自己と他者のそれぞれのよさを知る。

展開 22時間



使用材料: 変圧器、ヒートカッター、スタイロフォーム、ワイヤーブラシ、紙やすり、ソフトアンダー、グルーガン、割り箸

ヒートカッターは単純に電気コードが感電する仕組みです。普通の針金を付けています。理科室にある変圧器に取り付けることで感電、赤熱したスタイロフォーム、発泡スチロールをカットすることができます。立体を把握させるときには三面図を例にしますが、実際には二面図の方が生徒は理解しやすいのではないかと感じます。ヒートカッターで正面図をカット、その後側面図をカットし、斜めの造形を行うことで立体作品が完成します。ソフトアンダーはホームセンターの塗料コーナーで販売されています。弾性塗料でメーカーごとに名称が違いますが、弾性があり乾くと強力な被膜、塗装下地となります。塗装後、アクリル絵の具で塗装、面なので被ることが出来る様に紐を取り付けて完成。



教科研究員だったこともあり材料、授業内容を検討し乾漆技法に近い方法を模索しました。結果的にはタルクと水性塗料を混ぜて木屎漆と同じように造形する方法で作りました。題材を自刻面としたことで生徒には難しい内容となってしまいました。こちらの意図としては立体造形の要素であるモデリングとカービングを一つの課題の中で行うことで造形力を高めさせようと考えていましたが、同じように行うのであれば、カービングでほぼ完成させ、その後表面をコーティング、磨きで完成というように行程をはっきりと分けられたいのではと思っています。ここでは合成水性漆を載せていますが、普通的水性塗料が良いと思いました。乾燥により収縮、ひび割れがありますが、さらに盛ることによってひび割れをなくすることもできます。ひび割れも造形の要素とすることで面白い効果を狙うこともできると思います。磨くとかなりツヤがでます。

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。	美術作品や文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。

おまけ



面を授業で取り上げたことから話につながり、松戸高校のヒーローやドラゴンオーのスーツなども制作しました。ヒーロースーツは2種類制作し、忘年会、予餞会で実際にショーを行いました。スタイロフォームの他、ライオンボードという材料を使用しました。グルーガンはともすると幼稚な道具のように思われがちですが、ものすごく便利な道具だと思います。文化祭、映像作品など様々な分野に応用できるはずです。

興味のある方は tanaka.shintarou@gmail.com で問い合わせしていただければと思います。アイデア次第で面白いものが出来上がると思います。